

一 般 質 問 通 告 表

平成24年第2回始良市議会定例会（6月18日（月） 午前9時開会）

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 和田 里志	1. 市税について	<p>一般会計予算の歳入で自主財源の最も大きな柱である市税、特に固定資産税について、今年度は3年に一度の評価替えの年になっている。そこで良く話題にされる疑問、不平不満等について問う。</p> <p>（1）地価が下がっているのに土地の固定資産税が下がらない。また、土地の評価額は下がっているのに税額は逆に上がっているケースもあると聞く。その実態と理由について問う。</p> <p>（2）家屋は毎年古くなっているのに、評価額が下がらないのはなぜか。</p> <p>（3）自前で明らかに安く建てた家なのに評価が高いのはなぜか。</p> <p>（4）建物を壊したら土地の固定資産税が上がったのはなぜか。</p> <p>（5）家屋の固定資産税が、昨年度と比べると急に高くなったのはなぜか。</p>	市長
	2. 市内で行われる各種イベント・行事について	<p>新市が誕生し3年目になるが、各種イベント・行事もほとんど旧町時代を踏襲するように行われてきている。市の補助金を含めた様々な助成のあり方も踏まえ、今後どのように取組んでいくか。</p> <p>各種イベント・行事の継続性、新規イベントの取組みと観光等との連携について問う。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
2. 湯川 逸郎	1. ごみの減量化・資源物の有効活用について	<p>ごみの減量化・資源化は循環型社会を形成して行く上で、最も必要なことである。これまでのごみ収集量と処理経費について、先般行われた行政連絡委員会で検討されている。</p> <p>その資料に基づくと、ごみ収集量の推移は、資源物の収集量が平成 22 年度 3,117 トン、平成 23 年度 2,986 トンと前年度に比べ 131 トン減少している。</p> <p>その原因は何なのか具体的に示せ。</p> <p>また、処理費用においては、収集運搬経費が、平成 22 年度 1 億 8,134 万 4 千円、平成 23 年度 1 億 8,148 万 4 千円である。可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源物の運搬経費の状況を年度毎にそれぞれ示せ。</p> <p>また、有価物の処分売却益は、平成 22 年度 3,859 万 7 千円、平成 23 年度 4,762 万 1 千円で前年度に比べ 902 万 4 千円増加した原因は何なのか具体的に示せ。</p>	市長
	2. 基本構想の南部地域に属する西餅田地域の特性を活かしたまちづくりについて	<p>西餅田地域、別府川中流域の右岸、城山の丘陵の東山麓に位置し、市の中心市街地とは九州自動車道で隔てられている地域である。中心市街地と他の地域等を連絡する幹線道路の分断をなくし、中心市街地に来やすくする整備の推進が急がれる地域である。</p> <p>「総合計画における南部地域において、既存の幹線道路と道路計画の見直しを含めた、幹線道路の整備を進めます。」と記されている。</p> <p>また、第 3 次実施計画に向けた事業構想において、スマートインターチェンジと周辺道路と表記されている道路は、どの道路を事業構想として示しているのか具体的に示せ。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
2. 湯川 逸郎	3. 少子化対策における次世代育成支援対策について	<p>平成 15 年 7 月に制定された「次世代育成対策推進法」において、少子化対策の重点推進対策として、子どもの成長に応じた子育て支援を特徴とする「新しい少子化対策」が示されている。</p> <p>この施策は、「男女が共同し子どもを安心して、生み育て、子どもが健やかに育つまちづくり」の実現に向けての施策であり、仕事と生活の調和の視点として、行政・企業・地域が連携し社会全体で子育てを支えるものであると思う。</p> <p>本市における認可保育所・認可外保育所・私設保育所・事業所内での託児所のそれぞれの数と定員状況及び支援体制はどのようになっているのか具体的に示せ。</p>	市長
3. 森 弘道	1. 仮称松原小学校建設に木のぬくもりと香りのする地元産木材を利用した校舎建設について	<p>県内産、特に始良市内の木材を利用することで、本市の経済への波及効果は大きなものがあると考ええる。(公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律の施行に伴い積極的に利用すべきである。)</p> <p>(1) 公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律について、どのように理解しているか。</p> <p>(2) 木材を利用することのメリットはどのようなものがあるか。</p> <p>(3) 地元産木材を利用促進するため県林業振興課、始良西部森林組合等関係機関を含めたプロジェクトチームを早急に立ち上げたらどうか。</p> <p>(4) 指宿の丹波小学校の建築は、平成 20 年度指宿で初めてのプロポーザル</p>	市長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
3. 森 弘道		<p>方式設計提案を募り審査した結果、鹿児島市のある設計会社による「木の香り、心が育つ丹波小、こんな学校で学びたい。」のコンセプトによる設計を採用した。本市も本年度設計の段階であるが、木材利用についてどのようになっているか。</p>	市長 教育委員長
	2. 始良市部分林条例の一部見直しについて	<p>戦後、国や地方自治体の植林の奨励により、地域の方々が将来を夢見て苦勞しながら植林に励み、現在 50～60 年経過している。国内産の需要が多かった時代は一定の収益もあり、豊かな森林資源として貴重な財産であった。しかし、国内産の需給が少ない木材価格の安い現在においては、下払いや枝打ちなど苦勞して育林したが日当にも値しない。処分しようとしても、木の伐採、運搬、諸経費に相当な経費がかかり、差引いた残りを 4 分 6 で分ける現在の分収の歩合は関係者にとっては誠に気の毒で淋しい限りである。</p> <p>(1) 分収林を処分し収益を分収した地域が直近では何年にどこがあったか。また、収益はいくらであったか。</p> <p>(2) 中山間地域がほとんど対象であり、植林にかかわった方々もすでに亡くなられる現状において、地域活性化の資金源となり、昔の苦勞が報われるように分収の割合、在り方を見直す考えはないか。</p>	市長
	3. 始良市墓地管理のため必要とする原材料支給要綱の見直し	(1) 墓地管理組合は、市内に何か所あるか。	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
3. 森 弘道	しについて	<p>(2) 組合費の年間で1番高い金額と低い金額はいくらか。また、平均ではいくらとなるか。</p> <p>(3) 墓地は市有地であり、管理組合により管理運営されている。次の点から見直す考えはないか。</p> <p>一般に高齢化が進んでおり、営利を目的とする管理組合ではないので、原材料支給に砂利、砕石、手すり、ブロックなどを対象とすることはできないか。せつかくある福祉的な支給要綱をもっと身近な市民の立場に立って見直す考えはないか。(現在は生コンと排水用のU字溝、側溝が対象となっている。)</p>	市長
	4. 安全、安心な通学路の整備について	<p>平成22年4月帖佐幼稚園児の痛ましい死亡事故を受けて以来、教訓として、地域を始め、学校、警察、役所関係の協議により、危険箇所の点検、要望を実施してきた。その結果、今年3月帖佐橋の歩道に安全柵が設置されたことは大きな成果で大変有難いことだった。現在、県道川内～加治木線の納屋町と鍋倉境の高速ガード下の歩道が大きな問題となっている。</p> <p>県に対して強く働きかけてもらい、一日も早い整備を願っている。協議内容を問う。(歩道幅員 75cm、縁石まで 93cm)</p>	市長
4. 田口 幸一	1. 人工透析と医療費について	<p>(1) 人工透析とはどのような病気か。</p> <p>(2) どのような人がかかるのか。</p> <p>(3) 治療法はどのようになっているか。</p> <p>(4) 医療費は、1人1か月50万円、</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
4. 田口 幸一		<p>1年に600万円かかると言われているが、始良市内に何人の患者がいるのか。</p> <p>(5) 年間の総医療費(人工透析)はいくらか。</p> <p>(6) 特定疾患になっているのか。</p>	市長
	2. 歯周病と糖尿病について	<p>(1) 2つの病気の内容を問う。</p> <p>(2) 糖尿病は治るのか。</p> <p>(3) 医療費はどのくらいかかるのか。</p>	市長
	3. 市道仮屋園線の工事について	<p>(1) 平成23年度に予算化されたが、それが流れたと聞くが、どのような理由か。</p> <p>(2) 繰越明許との差異を問う。</p> <p>(3) 地権者は何人で、どのような方々か。</p> <p>(4) 同意書は、どのようになっているのか。</p> <p>(5) 道路の幅員、延長はいくらか。</p> <p>(6) 排水はどうなるのか。</p> <p>(7) 道路起点、終点はどのようになっているのか。</p> <p>(8) いつ市道に認定されたのか。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
4. 田口 幸一	<p>4. 資源物、危険物等の新始良方式について</p> <p>5. 船津の岡のストックヤードについて</p> <p>6. 各市税、市営住宅の家賃の平成 23 年度決算見込みについて</p>	<p>(1) いつから、どのような方式になるのか。</p> <p>(2) ステーションはどのようなになるのか。</p> <p>(3) 還元金はどのような算出になるのか。</p> <p>(1) やがて閉鎖されるのか。</p> <p>(2) 民間業者委託になるのか。</p> <p>(1) 市民税、固定資産税、軽自動車税、都市計画税、国民健康保険税、市営住宅家賃の現年度、過年度分について詳細を問う。</p> <p>(2) 平成 22 年度決算と比較してどうであったかを問う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
5. 本村 良治	1. 森山交差点の渋滞緩和を急げ	<p>以前から一般質問で再三取り上げている森山交差点における渋滞緩和の事業がなかなか先へ進まない原因は何かを問うものである。</p> <p>(1) 森山交差点の渋滞緩和事業がなかなか先へ進まない原因は何か。具体的に説明せよ。</p> <p>(2) 市当局はその原因を解決するために、現在どのような取り組みをしているか。</p> <p>(3) その後、県地域振興局とはどのように協議を進めているか、その内容を詳細に示せ。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
5. 本村 良治		<p>(4) 県地域振興局はどのような姿勢で協議に臨んでいるか。</p> <p>(5) (4) の中からどのような方向性がわかったか。</p> <p>(6) 地権者の意向に対して市当局は、どのような提案を提示してこの案件を先にすすめようとしているか。</p>	市長
	2. 障害者自立支援法の改正案と始良市の就労支援について	<p>平成18年4月に、障害のある人も無い人も、ともに地域社会で生活するための仕組みを目指した「障害者自立支援法」が施行された。しかし、施行直後から新たに導入された応益負担をはじめ、さまざまな問題点が指摘されてきた。その後政府は、平成22年1月に、自立支援法の不備の是正を求める障害者自立支援法訴訟の原告団との間で、遅くとも平成25年度8月までに障害者自立支援法を廃止し、新たな「総合福祉法」を制定するとの基本合意を交わした。しかし厚労省は、今国会に支援法の手直し程度の法改正を提案しました。改めて民主党政権に再び「総合福祉法」の制定を強く迫らなければなりません。また、一方で障害のある方々の生活の安定を図るために、現在の市内の作業所（通所における就労支援継続B型）の工賃の実態等を問うものである。</p> <p>(1) 支援法の改正案の内容を示せ。</p> <p>(2) 改正案は支援法のどの点がどのように改正されたのか。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
5. 本村 良治		<p>(3) 市内の施設使用料と利用者の工賃を明らかにせよ。</p> <p>(4) 始良市はどのようなかたちで就労支援を行っているのか。</p> <p>(5) 始良市は県の工賃倍増5か年計画に現在どのように対応しているか。具体的に説明せよ。</p>	市長
	3. 安心・安全なまちづくりに基づいた健康づくりについて	<p>平成23年第4回定例会に、国保運営協議会はこれまで国保事業は高齢化社会と高度医療の進歩に伴い、医療費は毎年伸び続け、財源不足が生じることが予想されていることから、「始良市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」を答申しましたが、市民福祉常任委員会で継続審議となりました。続いて、開かれた平成24年第1回定例会でこの条例を賛成多数で決定しました。その後、執行部は責任を持って市民へ国保税の値上げの説明会を開催していくことになった。その後の市民への周知の状況を問うものである。</p> <p>(1) 国保税値上げの説明会は現在、市内の何か所で行なわれたのか。 ○これまでの会場での出席者は ○会場での協議内容 ○今後の説明会の予定</p> <p>(2) 未納者対策として新たにどのような対策を講じているか。</p> <p>(3) 現在までのジェネリック医薬品への対応はどうなっているか。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
5. 本村 良治	4. 教育問題	<p>(4) 現在、特に思川沿いの楠元橋から新開橋の両岸は市民のジョギングコースとして広く利用されている。この付近一帯を健康づくりのモデルコースとして市民の安心・安全を確保するため、防犯灯を設置してはどうか。</p> <p>児童生徒が安心・安全が確保された学校において学習活動に専念できるように教育環境を整備することは教育行政の責務である。今回は、昨年の12月議会で一般質問の再質問で取り上げた事例の施設整備の進捗状況を確認するために再度質問するものである。12月議会終了前後に実態をよく理解してもらうために教育部長に写真も提出してある。2校はいずれも、いわゆる小規模校であるために施設整備の予算が少し不足しているのではないかと思った。</p> <p>市内の帖佐小学校では現在も板張りの廊下で板と板との境目が老朽化のため破損してわずかではあるが隙間ができてきている。この廊下をよく利用しているのは低学年であり最も安心・安全が保障されなければならない。</p> <p>もし、ここに低学年の児童が躓きでもしたら大変な事故につながる可能性もある。早急に整備する必要性を感じた。</p> <p>また、山田中学校のパソコンの設置されている棟の壁面は一見すると大きな汚れのまだら模様になっていて私は雨の日に数回この地区を通りかかった際に遠くから見ると薄暗い中で一種異様な感じさえ受けた。私は旧始良町時代に当時の教育長には現場を見に行くように進言したが依然として教育行政</p>	<p>市長</p> <p>教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
5. 本村 良治		<p>は腰を上げず、現在に至っている。校舎の壁面の景観にも行政、特に教育行政は児童生徒に美的情操感覚を身につけさせるためにも心を砕くべきである。この帖佐小学校・山田中学校の整備がなかなか進まない様子を見て、校区民はどのような気持ちで行政を見ているのだろうか。</p> <p>(1) この2か所の調査結果と報告はどのようなものだったか。</p> <p>(2) 現在、この2校の整備の進捗状況はどのようになっているか。</p> <p>(3) 施設整備における予算配分はどのように措置されているのか。</p> <p>(4) 学校からの施設整備の要望はどのように処理されたのか。</p> <p>(5) どうしてこのような校舎の内外の整備が何年も放置され続けているのか。学校訪問時はどのように施設の視察をしているのか。</p>	教育委員長